

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

蘇生中・蘇生後における脳血流変動を指標とした神経学的予後予測の探索的研究

1. 対象となる患者さん

心肺停止後に自己心拍再開を得て、奈良県立医科大学附属病院に搬送された患者さんのうち、救急外来または集中治療室（ICU）に入室された 18 歳以上の方を対象とします。

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 救急科 谷口 徹

3. 研究の目的と意義

この研究は、心肺蘇生中および蘇生直後の脳血流動態を経頭蓋ドップラー（TCD）を用いて測定し、脳血流指標と脳や神経の回復の見込みとの関連を明らかにすることを目的としています。

この研究の成果は、心肺停止後の患者さんに対する脳や神経の回復の見込みの早期予測手法の開発に繋がることが期待されます。

4. 研究の方法

救急外来または集中治療室において、通常診療の一環として実施される TCD 検査のデータおよび診療記録を収集し、脳血流指標（平均血流速度、脈波指数など）と 28 日以内の神経学的予後（CPC スコア）との関連性を解析します。

5. 使用する情報

- 診療情報：年齢、性別、既往歴、心停止発生状況、救命処置内容、自己心拍再開までの時間、TCD 検査結果、バイタルサイン、脳波所見、ICU 滞在日数、28 日以内の神経学的転帰（CPC スコア）など
- 本研究では、生体試料（血液、組織など）の収集は行いません。

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究の実施体制

この研究は、奈良県立医科大学附属病院単独で実施する単施設研究です。
共同研究機関はありません。

8. 外部機関への情報等の提供

本研究において、対象患者さんの情報や検査結果を外部機関に提供することはありません。

9. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2028 年 3 月 31 日

10. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

11. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 救急科 谷口 徹

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：K193852@naramed-u.ac.jp